

2020 年度実施概要

学校名

福島県南会津郡只見町立朝日小学校

採択活動名

つながりの中で「只見愛」を育みながら、学び続ける子どもの育成

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. たのしいあき いっぱい (こうていのあきをみつけよう)	1	生活
2. 生きもの なかよし 大作せん	2	生活
3. 只見町の自然博士になろう	3	総合的な学習の時間
4. 只見の水を守れ!	4	総合的な学習の時間
5. 只見町でさかんな農産物を調べよう	5	総合的な学習の時間
6. 只見町の未来を考えよう	6	総合的な学習の時間

取り組みの概要

生活科、総合的な学習の時間を核として、各学年でテーマを設定して取り組んできた。新型コロナウイルスに配慮しながら、体験的な活動を行い、テーマとのつながりを図ってきた。また、教科横断的な視点で単元を見直し、他教科との関連を明確にしながら実践を進めてきた。地域学習によるふるさとを愛する心をベースに、ふるさとを守ることと地球環境や海洋の問題に取り組むこととの関係を学習することで、海洋の問題に取り組む意義や大切さを学ぶことができた。

<各学年での取組>

○ 低学年においては、自分たちの地域のよさを十分に感じる学習を行い、海洋学習への素地づくりを行った。

・ 1年生のテーマ：「だいすきあさひ」

夏に訪れ、自然と触れ合った校庭や公園に、秋に再度訪れ関わることで、秋の自然を楽しんだり、夏との違いに気づいたりできるようにし、地域の自然の豊かさや素晴らしさ、楽しさを実感させた。また、保育所の年長組を招待し、秋の自然物を生かして作成したおもちゃを使って一緒に遊ぶ活動を取り入れ、地域の自然の良さや楽しさを伝えることができた。

・ 2年生のテーマ：「もっとなかよしまちの人」

生き物を探して捕まえたり、飼育したりする場面を設定し、自分が飼育してきた生き物のことを振り返り、作品にまとめる活動を通して、生き物のことを考えて世話ができるようになった自分自身の成長に気付くとともに、生き物がたくさんいる地域に愛着をもつことができるようになった。

○ 中学年では、只見の自然の豊かさを学ぶ学習から豊かな水を守っていく学習へとつなげ、只見の水を守ることや自分たちの生活を見直していくことが海の環境を守ることにつながっていくことに気づかせた。

・ 3年生のテーマ：「只見の四季・自然」

只見の豊かな自然について探究することで、自然環境の素晴らしさや豊かな生態系の維持について理解を深めることができた。また、ブナの森を中心とし、ブナの実は多くの生き物の食料となり、葉は小さな生き物たちに分解され腐葉土の層を形成すること、水を濾過・貯水するはたらきをし、森で

蓄えられた栄養が流域の土地や海を豊かにしていることに気づかせることができた。

- ・ 4年生のテーマ：「ユネスコエコパーク，水を探れ，守れ！」

身近な川である黒谷川を手がかりに他の川との比較を通して気付いたことをまとめるとともに、「地球温暖化」というキーワードと美しい川（水）の保全が深いところで結びついていることに気付かせることができた。只見の川の特異性について知ることで、その貴重さに気づき、将来にわたって保全していくための意識をもたせることができた。

- 高学年では、産業や防災，人口減少など町が抱える課題について取材活動をもとに追究することを通して、地球環境の変化や海洋の問題との関連を明らかにしていくとともに、持続可能な未来に向けて自分たちに何ができるのかを考え、発信し、行動することができるような取組を行った。

- ・ 5年生のテーマ：「只見の食と農」

只見町でさかんな農作物を調べていく活動を通して、その良さやすばらしさ、携わる人々の思いを実感するとともに、地球規模で起きている気候変動が自分たちの住む只見町にも影響を与えていることに気付くことができた。

- ・ 6年生のテーマ：「只見の過去・未来・現在」

只見町の良さや課題を知り、自分たちにできることを考え、提案することを通して、持続可能な只見町の発展について考えさせた。山，川，海は地球規模の水循環で繋がっていることをもとに、只見町と海との視点について触れたり、海辺の地域について取材したりする活動を通して、海と只見町の繋がりや海の良さを実感することができた。2月に開催された「全国海洋教育サミット」（オンライン開催）にてその成果を発表した。また、町内小中学校と連携し「海洋教育地域成果発表会」（オンライン開催）にて、保護者や地域の方を対象に海洋教育学習の成果を発表することができた。

<学年テーマ以外での主な取組>

1 只見町の雄大な自然を味わう活動：「なかよし活動」

- 全校児童で学校近くの黒谷川へ行き、地域の方に教えていただきながら川遊びや魚取りをしたり、縦割り班で活動したりすることを通して、自然のすばらしさを感じると共に、川と海のつながりについて気づくことができるようにした。

2 体験したことから学んだことを発表する活動：「学習発表会」

- 学びの成果を保護者に発表・表現することを通して、海への思いやつながりについての考えを深め、発信する機会とした。

3 只見の自然環境学習会

- 下学年児童を対象に、只見博士新国勇さん（町内在住）を講師に招いて、只見町の自然環境のすばらしさを学ぶ機会を設けた。

4 海洋教育学習会（リモート）

- 4～6年生を対象に、東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センターの先生方とリモート会議形式で学習を行った。3名の先生方から、只見と海のつながりや只見と雪の関係、地球温暖化に起因する諸問題などについてお話をいただいた。



<なかよし活動>



<只見の自然環境学習会>



<海洋教育学習会>